存在感発信委員会

Effective Presence Delivery Committee

委員会基本方針

私たちは、理想のまちの実現に向けた高い目的意識を抱き、果たすべき役割に対する責任感に溢れ、同じ志を実現していこうとする仲間同士で連帯感を持ち、何事にも積極果敢に取り組む行動力を備えた周りから模範とされる JCI 大阪ブランドを確立していきます。

日　時：各日本JC大会
場　所：各LOMナイト
参加者：計画　158名
　　結果　118名

日本ＪＣ出向者の支援（LOM ナイト）

LOM ナイトでは例年に比べ一人ひとりにスポットライトを当て、また、各出向先委員会の概要を紹介し、出向者に対し組織からの期待感を伝えることができました。また、日本 JC の大会中は出向者自身が出向先の担いで出席できない可能性もあり、出向者のスケジュールを把握しておくことが必要だと実感しました。
【工夫した点】LOM ナイトでの制限時間内での出向者紹介、出向先委員会への表敬訪問

日　時：9月29日（木）～10月2日（日）
場　所：名古屋国際会議場
参加者：計画　323名
　　結果　462名

日本ＪＣ事業への参加促進（全国大会名古屋大会）

（ほか、京都会議、サマーコンファレンス、近畿地区協議会会員大会）

当初予定していた人数より大幅に超え、462 名の登録を得た。最終ファンクションの大会式典では 400 名近い人数が集まり大阪青年会議所の存在感を全国に発信することができた。各種セミナー、フォーラムへの参加人数が全体登録人数に比べ少なく、日本 JC 事業の運動を伝えきることが出来なかった。次年度は、各種フォーラムへの内容や見どころをよりわかりやすく伝え、参加促進と参加人数の把握をするべきです。
【工夫した点】参加者マニュアルの電子配信、各種フォーラムセミナーの情報配信、LOM ナイトの実施

日　時：6月2日（木）
場　所：ローザロッチェ
参加者：計画　34名
　　結果　29名

ＬＯＭ間交流の推進（岡山大阪交歓会）

（ほか、岡山大阪交歓会）

互いの LOM の運動の方向性を共有し、会場にはレストラン、ローザロッチェを使用し、宴席も設営して、会議だけでは深められない懇親を図りました。限られた時間の中で、より多くの人が互いの個性を理解でき、互いの LOM の特徴がわかる工夫が必要であったということが反省点です。
【工夫した点】本年は長年続いてきた岡山 JC との交歓会に加え、金沢 JC との交歓会を実施。互いの LOM の役員同士による小規模で親睦をより深められる交流会の設営を実施。

会員向け広報の実施

（ホームページを利用した事業速報、年間スケジュールの配信）

HP にて事業速報として、対内向け事業の結果を伝え、各種事業の内容を広く知らせ、LOM の活動内容を共有することができました。Google カレンダーの利用により、メンバー内で統一した年間スケジュールの配信を行う事が出来ましたが、委員会スケジュールなどは、予定から開催日が変更されることが多くあり、リアルタイムの情報の更新までは対応できませんでした。今後は、より定期的に情報を一括管理して、正確な年間スケジュールの管理を徹底していかなければならない、と考えます。
【工夫した点】HP による事業速報の配信。HP での Google カレンダーの利用による年間スケジュールの共有。

目的意識、責任感、連帯感、行動力を備えた存在感

存在感発信委員会では、大阪青年会議所に周りから模範とされる JCI 大阪ブランドを確立することを目的として様々な事業を展開して参りました。
私たちは、京都会議、サマーコンファレンス、全国大会名古屋大会など日本青年会議所の各大会の趣旨や参加目的をメンバーにタイムリーにわかりやすく伝えながら、ひとりひとりに目的意識をもって各種日本 JC 事業に参加してもらえるようホスピタリティーをもって参加促進をしてまいりました。また、日本 JC、近畿地区協議会、大阪ブロック協議会への出向者支援として LOM メンバーが一堂に会する LOM ナイトなどで、出向者へスポットライトをあてる場面を創りだし、158 名の出向者に対し LOM を代表して出向する責任感と LOM からの期待感を溢れさせてきました。そして、岡山青年会議所と金沢青年会議所のメンバーを大阪に招き、お互いが発信する JC 運動に対する想いを語り合う機会を創り、遠く地が離れながらも長い間友情を育んできた仲間との絆をさらに強いものにしました。また、明るい豊かな社会の実現を目指して発信してきた様々な運動をタイムリーにメンバーに伝えていく事で、様々な事業の意義・目的を共有し、900 余名所属するメンバーのベクトルを合わせ、LOM 内の力強い連帯感を築いてまいりました。本年の全国大会名古屋大会では 400 名を超えるメンバーに参加いただき JCI 大阪の存在感をメンバー自身にも、対外メンバーへも存分に発揮する事ができました。本年度に引き続き、メンバーには日本 JC 事業に目的意識をもって意欲的に参加していただき、また、出向者も多数出ていただき、高い目的意識、責任感、強い連帯感、積極果敢な行動力を備えた JCI 大阪の存在感を対内対外に発信し続けていただきたいと思います。

委員長　山本 修史
Shuji Yamamoto

STAFF

委員長	副委員長	委　員						
山本 修史	江川 浩司	赤坂 祐一	大橋 弘幸	笹岡 輝久	友井 亮輔	西村 信一	古田 久統	保井 美紀
幹　事	加藤 睦	足立 洋平	岡 愛一郎	塩田 勲	中尾 健太郎	新田 雄士	穂積 隼人	保田 信哉
陣野 公司	川田 貴亮	安封 由紀	岡田 快晴	嶋袋 雅之	中川 忠信	長谷川 智洋	堀 展久	山田 昌宏
神農 将史	桐元 久佳	安部 穣之	小上 茂樹	白川 将之	永島 昭彦	畑山 裕美	松本 真希	湯川 泰行
関口 正輝	辻本 和久	池上 嘉晃	蔭久 睦昌	銭高 久善	中島 聖智	原田 修彦	松本 悦典	幸松 哲也
山本 雅仁	三好 克利	井本 竹則	川崎 勝郎	高橋 竜二	中島 正晴	陽田 友希	道野 弘済	淀 雅和
	森下 新也	岩本 泰三	神農 永一	竹垣 敦啓	中条 一樹	平井 泰善	宮本 高明	
		上田 智弘	岸 嗣展	田中 宏樹	中村 大祐	平本 昌吾	村上 亮介	
		恵良 敏彦	北野 泰弘	津川 裕介	中本 慎一郎	藤田 英人	望月 雅彦	
		大西 正敏	北畠 健嗣	坪内 基真	中山 春生	藤田 廣志	森下 新太	
			近藤 遠	戸谷 太郎	西野 里奈	藤立 勇人	矢口 浩二	